

平成16年度 事業計画 (案)

〔基本方針〕

修学旅行は最大の学校行事であり、学校教育の総仕上げとして生徒の人間形成上重要な我が国独自の伝統的教育行事である。

近畿地区公立中学校修学旅行委員会は、急速に変化する社会の中で学習指導要領のねらいとする「自ら学び、自ら考える力」の育成を目指し、また、修学旅行の三原則（安全性の確保・教育性の高揚・経済性の適正化）の上に立って修学旅行のあり方を追求してきた。修学旅行は現在では見学・知識習得という一方向的な学習の場ではなく、触れ合い・共感・共生等を重視した双方向性を持った学習の体験化への方向をたどっている。各学校では、修学旅行を「総合的な学習の時間」と関連させることにより、より深みのある修学旅行ができるよう努力している。

平成16年度近畿地区公立中学校修学旅行委員会は、永年に亘る委員会活動の伝統と実績を踏まえ、当地方の公立中学校が実施する修学旅行の改善・向上を目指すと共に、新たな課題に積極的に取り組むこととする。

〔重点推進事項〕

研究活動の充実

1 研究大会

第19回近畿地区中学校修学旅行研究大会を成功させるために、各府県の協力を得て、時代に即した修学旅行のあり方を研究する。（アンケートの意見についても検討）

- ・ 開催日 平成16年11月18日（木）
- ・ 会場 兵庫県西宮市 西宮プレラホール
- ・ 研究テーマ 「みんなで創ろう21世紀の修学旅行」
- ・ 発表府県 大阪府・兵庫県

2 修学旅行実施状況調査

- ・ 修学旅行に対する考え方。
- ・ 「総合的な学習の時間」との関わり。
- ・ 体験学習の取り組み状況等。
- ・ 危機管理に関する調査・研究（新規＝予定）
- ・ 体験学習事業所等のリスト作成（新規＝予定）

3 修学旅行現地研修

- ・ これからの時代にふさわしい修学旅行先の研究・開拓
（経済性・安全性・教育性を原則として）
- ・ 体験学習の開拓・研究
- ・ 16年度候補地 （東京都・千葉県房総地方）

集約輸送の安全・充実

- ・ 近畿中学校長会修学旅行専門委員会や各輸送機関等との連携を密にし、修学旅行生の輸送が安全・円滑に実施できるように努力する。
- ・ 集約離れが進んでいる中、経済的な観点から集約輸送に戻る方策について検討する。（社会情勢から考えて検討が必要な時期）

参考

平成16年度近修委集約輸送 （3市含む）

- ・ 学校数 355校 （前年度398校）
- ・ 輸送人数 54,570人 （前年度64,856人）
- ・ 運転期間 4月18日（金）～6月15日（火）

（ 集約輸送集計表添付 ）

沖縄方面への修学旅行生の輸送について

下表のように近畿地区において沖縄県への修学旅行が増加の一途を辿っている。
平成17年度は275校となっているが、他に「未定・検討中・無記入」の学校が165校(3市含まず)あり、最終的には275校を越えるのは明らかである。

また、近畿地区だけでなく17年度からは東京都内の中学校でも沖縄方面への修学旅行が一部許可されており、関東地方でも増加することが考えられ、近い将来輸送面での課題のみならず、受け入れに關しての課題も予想される。

平成14年度から近修委が中心となって取り組み始め、15年度一部の課題が解決する等進展があったが、全国的な広がりとするためには力強く継続的な取り組みが必要である。

航空機利用を推奨するものではないが、近公修委も可能な範囲で近修委と歩調を合わせて取り組み、課題解決に努力しなしなければ学習題材が豊富な沖縄修学旅行が一過性のものになってしまうおそれがある。

(沖縄方面への修学旅行の推移)

(3市含む)

	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17
校数	87	129	136	219	257	275

(17年度は予定数)

(単位：校)

情報連絡ネットの構築

1 近公修委内の学校Eメールアドレスを集約する。

毎年修学旅行実施状況調査で協力して頂いており、本部で集約している。

本部から近公修委管内のほとんどの学校へはEメールを活用して連絡が取れる状況になっている。

2 インターネット等を活用した場合の課題。

学校には専用の職員がいないため、送付しても開いて確認するのが遅くなるか、開かないままの状態にあることが多い。

1000校単位で調査依頼をしても回答率が5%と大変低いのは上記が原因である場合が多く、今後の課題である。

平成16年度事業

月	事業内容	
4月	新年度諸活動の準備	
5月	総会等の準備	
6月	平成16年度総会（6月17日＝第2回運営委員会で決定）	近修委総会
7月	近畿地区中学校修学旅行研究大会後援依頼（各府県教委へ）	
8月	第18回現地研修 8月20日（金）～22日（日） 東京・千葉県	
9月	・第1回運営委員会（研究大会について） ・平16修学旅行実施状況調査発送	近修委 （平18年度集約申し込み発送）
10月	・第2回運営委員会（研究大会の確認等） ・平16修学旅行実施状況調査回収 ・全国修学旅行研究大会（東京） ・東海三県修学旅行研究大会（名古屋市）	近修委 （平18集約申し込み締切り）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地区修学旅行研究大会（水戸市） ・平成16年度第19回近畿地区中学校修学旅行研究大会 平成16年11月18日（木）午後1時～4時 兵庫県西宮市 プレラホール 発表府県 兵庫県・大阪府 ・修学旅行セミナー（東京） 	
12月	第3回運営委員会 （研究大会の持ち方について）（新規予定）	近修委 （平18集約抽選）
1月	3地区公立中学校修学旅行連絡会代表者会（東京）	
2月	第4回運営委員会（1年間の反省と次年度の予定等）	
3月	平16年度のまとめと次年度の準備等	

（他に近畿中学校長会修学旅行専門委員会航空機対策委員会が数回予定されている）

第 19 回近畿地区中学校修学旅行研究大会 (案)

- 1 主催 近畿地区公立中学校修学旅行委員会
(財) 全国修学旅行研究協会
- 2 後援 近畿各府県教育委員会・西宮市教育委員会
- 3 協賛 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会
- 4 日時 平成 16 年 1 月 18 日 (木)
午後 1 時 ~ 午後 4 時
- 5 会場 プレラホール
兵庫県西宮市高松町 4 - 8
- 6 研究テーマ 「みんなで創ろう 21 世紀の修学旅行」
- 7 研究発表校
 - ・ 兵庫県 (宍粟郡安富町立安富中学校)
 - ・ 大阪府 (南河内郡美原町立美原中学校)
- 8 参加目標 220 名
兵庫県 (60) 大阪府 (80)
京都府 (20) 滋賀県 (20)
奈良県 (20) 和歌山県 (20)
- 9 その他
 - ・ 今後の研究大会のあり方について
(平成 16 年 2 月 23 日の運営委員会で、16 年度中に検討会を持つことを決定)
 - ・ 昨年度に比べ 30 分早く開始、30 分早く終了。